

設案ダム関連遺跡分布図 (国土地理院刊行 2万5千分の1地形図「田口」「海老」)



大崎遺跡全景(南から)

年代	2000年	1900年	1800年	1700年	1600年	1500年	1400年	1300年	1200年	1100年	1000年	900年	800年	700年	600年	300年	250年前	300年前	400年前	500年前	600年前	1500年前	2500年前	3000年前	3500年前	年代	
時代	近代・現代		江戸時代		室町時代		鎌倉時代		平安時代		奈良時代		飛鳥時代		古墳時代		弥生時代		縄文時代		草創期		後期旧石器時代		時代		
主なできごと	1945年 太平洋戦争終結		1867年 大政奉還		1603年 徳川家康江戸幕府を開く		1338年 足利尊氏室町幕府を開く		1192年 源頼朝征夷大将軍となる		藤原氏の摂関政治		743年 東大寺大仏建立の詔・国分寺		645年 乙巳の変(大化の改新)		稲作の開始 環濠集落の出現		寒冷化し、海退した低地にも生活を始める		貝塚の形成 気候の温暖化による海進		土器の発明・三矢の使用 氷河期が終わる		鹿角島貝始良カルテラ(A.T.)の降灰		台形様石器・ナイフ形石器 ・局部磨製石斧の出現
愛知県の遺跡	吉田城跡(豊橋市)		武節城址(豊田市) 田峯城址(設楽町) 津具城址(設楽町)		普門寺跡(豊橋市) バヤキ窯跡(東栄町)		大根平遺跡(設楽町)		白鳥遺跡(豊川市) 三河国分寺跡(豊川市)		丸根古墳(設楽町) 屋木下古墳(設楽町) 馬越長火塚古墳(豊橋市)		瓜郷遺跡(豊橋市) 久山遺跡(豊川市)		板平遺跡(東栄町) 麻生田大橋遺跡(豊川市)		石岸遺跡(新城市) 万瀬遺跡・大畑遺跡(設楽町)		多利畑遺跡(豊橋市) 大安寺遺跡(豊田市) 鞍舟遺跡(設楽町)		萩平遺跡(設楽町) 西地・東地遺跡(設楽町)		多利畑遺跡(豊橋市) 刈平遺跡(新城市) 刈平遺跡(新城市)		茶臼山遺跡(豊根村) 駒場遺跡(豊川市)		上品野遺跡(瀬戸市)

東三河の遺跡年表(橙塗りは大崎遺跡で確認されている時期)



A区:水田等検出作業風景



B区:竪穴建物跡掘削風景

大崎遺跡の概要

大崎遺跡は令和3年度より調査を行なっています。遺跡は田口の集落の北東、境川の左岸に位置する遺跡で、周辺には川向東貝津遺跡や大畑遺跡があります。令和3年度調査では中世の水田関連遺構、縄文時代中期から弥生時代中期の集落跡、縄文時代早期以前の遺構の調査を行いました。今年度は、令和3年度調査区の北に設定したA区と縄文時代早期以前の遺物・遺構についての調査のため、昨年度の調査区に重複する形で設定したB区の調査を行なっています。



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
 〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野 方802の24
 電話 (0567) 67-4163【調査課】
 HP: <http://www.maibun.com/>
 Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>
 Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
 調査支援 株式会社アコード 名古屋営業所 電話 (0567)65-6086
 〒498-0031 愛知県弥富市平島町大脇 12-3-202 HP: <http://www.a-accord.co.jp>

大崎遺跡全体図

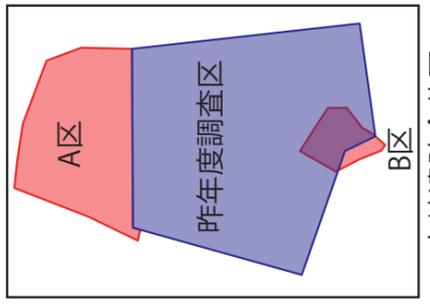
A区の西側で鎌倉時代（一三〇〇年頃）の水田関連遺構を確認しました。調査区の南北に走る水路を中心に2〜3m四方の水田が展開している様子がわかっています。傾斜のある土地で水田を営むために小区画の水田になったと考えられます。周辺からは伊勢型鍋などの鎌倉〜戦国時代の遺物が出土しています。



伊勢型鍋出土状況



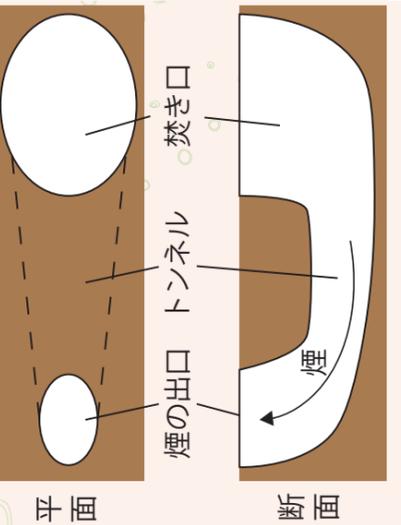
水田関連遺構検出状況



大崎遺跡全体図

今年度調査区:A区(赤線)

縦穴建物跡(時期不明)



煙道付炉穴模式図

屋外に作られた炉、煮炊きや燻す際に使われたと考えられます。

令和3年度調査区(青線)

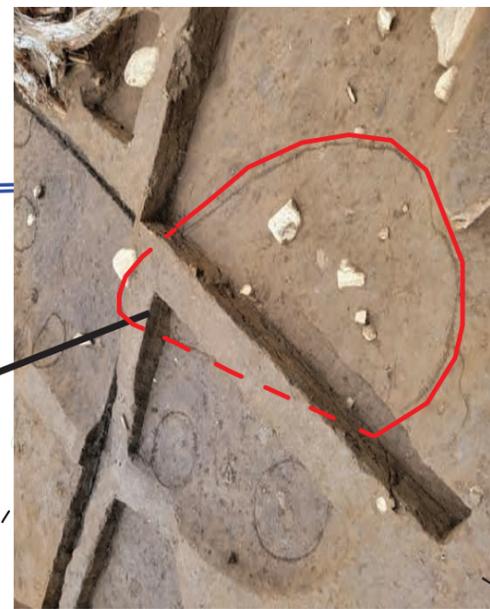
水田関連遺構(点線内)

昨年度調査の水路

水田

- 縄文時代早期の竪穴建物跡 (約11,000~7,000年前)
- 縄文時代中期の竪穴建物跡 (約5,500~4,400年前)
- 縄文時代後期の竪穴建物跡 (約4,400~3,200年前)
- 縄文時代晩期の竪穴建物跡 (約3,200~2,300年前)
- 弥生時代中期の竪穴建物跡 (約2,000年前)
- 鎌倉時代の水田関連遺構 (約700年前)

B区では、水田関連遺構の下層に縄文時代中期後半〜弥生時代中期の集落跡が展開していることがわかっていました。今回の調査では、その下の層から縄文時代早期の煙道付炉穴と竪穴建物跡を確認しました。竪穴建物跡は、煙道付炉穴の下から新たに見つかったもので一万年頃頃のものと考えられます。



検出された煙道付炉穴(赤丸部)



縄文時代早期後半の土器

竪穴建物跡群 (一点鎖線内)



B区の竪穴建物跡群 (赤線の部分が縄文時代早期の竪穴建物跡)

今年度調査区 B区(赤線)